

平成30年度大磯町教育委員会第8回定例会議事録

1. 日 時 平成30年11月15日（木）
開会時間 午前9時30分
閉会時間 午前10時55分
2. 場 所 大磯町生涯学習館2階 集会室
3. 出席者 野 島 健 二 教育長
長 嶋 徹 教育長職務代理者
青 山 啓 子 委員
曾 田 成 則 委員
トーリー 二葉 委員
仲手川 孝 教育部長
宮 代 千 秋 学校教育課長
山 口 友紀子 学校教育課副課長
瀬 戸 克 彦 子育て支援課長
波多野 昭 雄 生涯学習課長
國 見 徹 生涯学習課郷土資料館長
佐 藤 聡 生涯学習課図書館長
秋 本 篤 史 （書記）学校教育課教育総務係長
4. 欠席者 なし
5. 傍聴者 なし
6. 付議事項
議案第14号 平成30年度大磯町教育委員会の点検・評価について
議案第15号 平成30年12月補正予算における教育委員会関連予算要求について
7. 協議事項
協議事項第1号 平成31年度教育委員会関係当初予算要求に係る協議について
8. 報告事項
報告事項第1号 第2回大磯町立中学校給食検討会について
報告事項第2号 町立幼稚園への平成31年度入園応募状況について
報告事項第3号 子ども・子育て支援に関する利用ニーズ調査の実施について
報告事項第4号 大磯町郷土資料館協議会委員の委嘱について
報告事項第5号 教育委員会関連事業の実施及び結果報告について
9. その他

(開 会)

教育長) それでは、ただいまから、平成30年度大磯町教育委員会第8回定例会を開催いたします。

本日の会議の内容ですが、付議事項が2件、協議事項1件、報告事項5件でございます。

本日は5名全員、出席しておりますので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第3項の規定により、定例会は成立いたしました。

現在、傍聴を希望される方が見えておりませんが、希望者が見えたら、大磯町教育委員会会議規則第12条及び第17条の規定により傍聴を許可したいと思えます。

(平成30年度第7回定例会議事録の承認)

教育長) 「平成30年度第7回定例会議事録」は、1ページから21ページに記載のとおりでよろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、「平成30年度第7回定例会議事録」については、ご承認いただいたものとします。

教育長報告

教育長) それでは、10月定例会開催後の平成30年10月19日から本日までの教育委員会諸行事等について報告させていただきます。

10月13日から10月14日にかけて、生涯学習館、図書館、郷土資料館など町の公共施設を会場として、「第65回おいそ文化祭」を実施しました。また、各地区では10月20日から11月4日まで中で、地区会館などを会場に文化祭が開催されておりました。詳細につきましては、後ほど事務局よりご報告いたします。

10月20日、今年は国府小学校体育館で、「いそっこフェスティバル」が開催され、町内各園の年長児と一緒に体操や合唱等を行うことにより交流を深めておりました。詳細につきましては、後ほど事務局よりご報告いたします。11月3日、国府中学校を会場に、大磯町小・中音楽会を開催いたしました。本年度も多くの方々にご来場いただき、最後の「ふるさと」の参加児童生徒全員での合唱を聴いた際には胸をうたれるものもあり、子どもたちの日頃の練習の成果を肌で感じました。

11月1日から5日まで、平成31年度の町立幼稚園入園願書の受付を行いました。応募の状況につきましても、後ほど子育て支援課より報告いたします。その他の諸行事につきましては執行状況表のとおりです。

なお、今後の予定につきましては、執行予定表をご参照ください。

また、10月定例会から本日までの間に、教育長に委任された事務で重要なものに関する事、専決した事項に関する事、その他について報告いたします。

要綱改定について、1件ございます。11月7日付けで「大磯町特別支援教育就学奨励金交付要綱の改定について」の告示を行いました。こちらにつきましては、今までは、特別支援学級に在籍の児童若しくは生徒を対象としておりましたが、学校教育法施行令に定める障害の程度に応じて、通常の学級に通学している児童若しくは生徒も対象となるよう対象範囲を拡大するなど所要の要綱改正であります。本日の報告は、以上でございます。

議案第14号 平成30年度大磯町教育委員会の点検・評価について

学校教育課長) 議案第14号、平成30年度大磯町教育委員会の点検・評価について、ご説明いたします。

このことにつきましては、本年度も6月より作業を開始し、これまで時間をかけて平成29年度の取組みについて点検、評価を行っていただきました。そして、先月の定例会におきまして、点検・評価案についてのご協議をいただきました。

本日の議案につきましては、内容につきましては、前回の協議案からの変更はありません。説明は以上です。よろしく願いいたします。

質疑応答)

青山委員) 今事務局からお話がありましたとおり、時間をかけまして協議を重ねた内容で、この案に対して異論はございません。平成29年度の教委の活動内容についてこういう点検評価という形をもって町に報告できる内容が出来上がったと思います。また、その中に外部評価も加わっているのですが、様々な施策を実行するにあたって、このなかでは地域住民の声をどのように吸い上げていくか、また教委の考え方をどのようにして伝えたらよいか方策についていろいろと課題が示されたと思います。委員として参考にしていきたいと思っております。

教育長) 質疑を打ち切ります。討論を省略し採決に入ります。議案第14号について、原案どおり、ご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、議案第14号「平成30年度大磯町教育委員会の点検・評価について」は、原案どおりご承認いただいたものとします。

議案第15号 平成30年12月補正予算における教育委員会関連予算要求について

学校教育課長) 議案第15号、平成30年12月補正予算における教育委員会関係予算要求について、ご説明いたします。

議案別紙をご覧ください。学校教育課及び子育て支援課の分となります。はじめに、学校教育課の分を説明いたします。歳出になります。予算科目は教育費、小学校費、学校管理費、事業名は、学校施設・設備維持事業、需用費、修繕料(維持補修費)であります。こちらは、大磯小学校の給食配膳室の小荷物昇降機の外側の雨漏りや、防火シャッターの不具合について、学校施設・設備の修繕を行うための費用であります。

学校教育課からの説明は、以上です。

子育て支援課長) それでは、平成30年12月補正予算における教育委員会関連予算要求について、子育て支援課の教育費に係る部分について、ご説明いたします。

資料の別紙をご覧ください。まず歳入についてですが、国庫支出金の国庫補助金、教育費国庫補助金で幼稚園費補助金で、ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金の増額になります。

こちらは、国が新たに補正予算を組んで対応した補助事業で、学校の安全対策として実施する公立学校へのエアコン設置や、危険なブロック塀の改修について補助するものです。今回は、歳出にあります幼稚園の空調設置工事に対する歳入となります。

次に歳出ですが、歳出については2点ございまして、1点目は、教育費の幼稚園費、幼稚園施設整備事業で、委託料の設計管理委託料の増額になります。次に2点も同様に、幼稚園費の幼稚園施設整備事業で、工事請負費の増額となります。

この2点については、園児の健康維持や熱中症対策として大磯幼稚園の園舎に新たにエアコンを設置し、幼稚園の保育環境の整備を図るものです。エアコンの設置については、すべての保育室である全8室と2階ホール、職員室及び保健室に設置を予定しています。なお、工事完了については翌年度となる見込みですので、歳出については、繰越明許費として事業費の一部を翌年度へ繰り越して使用することができるものといたします。

平成30年12月補正予算における教育委員会関連予算要求についての子育て支援課の説明は、以上となります。

質疑応答)

青山委員) 幼稚園のエアコンについてはリースでしょうか、それとも別の形で設置されるのでしょうか。

子育て支援課長) 今回、リース等も検討しましたが、国庫等の補助による歳入があるものとして直接、町で設置することとしました。

青山委員) それがベストな形であれば、結構かと思えます。

子育て支援課長) 学校教育課においてエアコンのリースという予算が取られておりましたので、私どももリースの場合の予算見積もりを徴取し、比較したのですが、より良い方法ということで、今回直接設置する方法で予算を計上いたしました。

教育長) 質疑を打ち切ります。討論を省略し採決に入ります。議案第15号について、原案どおり、ご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、議案第15号「平成30年12月補正予算における教育委員会関連予算要求について」は、原案どおりご承認いただいたものとします。

協議事項第1号 平成31年度教育委員会関係当初予算要求に係る協議について

学校教育課長) 学校教育課は、資料の1ページから5ページになります。主な事業の変更点について説明します。

1 ページをお開きいただき、はじめに、教育総務費です。2 番目の事務局運営事務事業では、まず、学校施設等長寿命化計画策定委託料を新たに計上しております。こちらについては、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能性能を確保していくことを目的として策定していくものであります。続いて、町立小中学校の空調設備借上料を新たに計上しております。こちらについては、児童・生徒が快適に学習できる室内環境を実現するために、町立の小中学校4校の普通教室及び特別教室等にエアコンを設置していくものであります。なお、現在、設置事業者の募集を行っているところであります。

4 番目の学校教育指導振興事業です。町として、引き続き学びづくり推進事業を実施し、児童・生徒の学力向上、教員の指導力向上を目指した実践研究に取り組んでまいります。また、平成27年3月に小・中学校学習指導要領が改訂されたことに伴い、道徳の時間が、平成30年度の小学校に引き続き、平成31年度からは、中学校でも「特別の教科 道徳」として位置づけられることとなりますので、これに伴い、教職員用の教科書や指導書を購入するための費用を計上しております。そして、部活動外部指導者の謝金につきましては、小学校の部活動も踏まえた中で、若干人数を増員しております。

次の健康管理事業では、まず、臨時職員の健康診断の委託料を増額としたほか、毎年10月頃に実施している就学時健診について、その実施場所の設営や機材レンタル、そして、健診時の医師の補助員等派遣委託などの費用を新たに計上し、より効率的な事業運営を目指していきたいと考えております。

次の教育研究所維持管理・運営事業では、平成29年度から、スクールソーシャルワーカーを町独自で採用したところですが、平成30年度よりも、さらに、雇用日数を増やし、町立学校全体の支援体制の充実を図ってまいりたいと考えております。また、町立小学校にスクールカウンセラーを新たに雇用し、児童・生徒の生活上の最近の諸問題や悩みの相談のほか、教師や保護者に対する指導や相談体制の充実を図ってまいります。また、教育研究所移転に伴い、現在の施設内の不用品の処分、そして、移転先の施設開設に伴うセレモニー等での配布用パンフレットの作成を行っていく費用を計上しております。

次に児童・生徒指導支援事業では、指導協力員の増員により児童・生徒に対する支援体制の充実を図ってまいります。また、いじめ問題対策・調査委員会の委員に精神科医の方を追加し、生徒などの精神面の状況を踏まえた中での対応確認なども行ってまいります。いじめの重大事態発生時の対応については、最近の傾向も踏まえた中で調査回数を増やしております。

2 ページをお開きいただき、一番上の支援教育推進事業では、特別支援教育などの研修会の講師派遣の費用を増額としたほか、主に町外など遠方から通勤される教育支援員の方のために支給する通勤補助費を計上し、待遇面を向上することで、人員の確保を図ってまいります。

続いて、上から5番目の教育研究所整備事業です。こちらは、現在、こいそ幼稚園内の施設にある大磯町教育研究所について、教育に関する調査研究、研修、教育相談などの機能強化なども考えた中で、旧横溝千鶴子邸を移転先として準備を進めております。既に、平成30年度は改修工事に向けての設計を行っており、平成31年度は、外構や内装の改修工事を行っていくための費用を計上しております。

以上が、予算科目の教育総務費となり、予算要求見込額1億7,143万1千円、前年度比較で7,560万5千円の増額となります。

次に、小学校費です。一番下の学校運営事業と、3ページをお開きいただき、一番上の段の学校施設・設備維持事業は、小学校の維持管理に関する経費であります。町立の小中学校4校の普通教室及び特別教室等のエアコン設置に伴う電気料金を増額で計上したほか、学校運営に必要な備品購入、修繕箇所の修繕を進めてまいります。

次に、3番目のコンピュータ教育推進事業は、小学校内のコンピュータ室のパソコンのリース期間満了による入替のほか、各教室内に持ち込んで授業等に使用できるように、タブレット等の購入費用を計上しております。

次の国府小学校施設整備事業は、国府小学校の体育館屋根の防水工事の費用を計上しております。

次の大磯小学校施設整備事業は、大磯小学校のグラウンド内の町道沿いへの防球ネット設置に向けての工事の費用を計上しております。

次に、一番下の理科教育振興法設備整備事業は、隔年実施で実施される事業で、平成31年度は、記載のとおり、両小学校に、簡易検流計や顕微鏡などの理科備品を購入するための費用を計上しております。

4ページをお開きいただき、上から2番目の学校給食施設・設備維持事業は、国府小学校の給湯器新設工事のほか、調理場施設内の消毒保管庫、立体炊飯器、冷凍冷蔵庫などの備品購入の費用、そして、洋式トイレやガラリの修繕などの費用を計上しております。

以上、小学校費の予算要求見込額は1億6,174万5千円、前年度比較6,822万2千円の増額です。

次に、中学校費です。1番目の学校運営事業と2つ目の学校施設・設備維持事業は、中学校の維持管理に関する経費です。小学校と同様に、学校運営に必要な備品購入、修繕箇所の修繕を進めてまいります。

3番目のコンピュータ教育推進事業は、中学校内のコンピュータ室のパソコンのリース期間満了による入替のほか、各教室内に持ち込んで授業等に使用できるように、タブレット等の購入費用を計上しております。

一つとんで5番目の大磯中学校3号館大規模改修事業は、既に基本設計が終了しておりますので、平成31年度は、本格的な工事に向けての実設計計を行うための費用を計上しております。

一番下の教育振興推進事業は、主に、各種部活に所属している生徒が各種大会等に参加する交通費や参加費等に対する部活動の補助金を増額して計上しております。

次に5ページをお開きいただき、上から2番目の理科教育振興法設備整備事業は、小学校と同様に、隔年実施で実施される事業で、平成31年度は、記載のとおり、両中学校や生沢分枝に、顕微鏡や気圧計などの理科備品を購入するための費用を計上しております。

最後の学校給食運営事業ですが、平成30年度は、今後の中学校給食の方式を検討するための調査費用を計上しておりましたが、今年でその調査委託業務は終了し、今年、生徒の昼食のお弁当について、外部の業者に発注して学校に配達をする場合、生徒への受け渡しなどの人員が必要となるため、その人件費相当分を予算計上しております。

以上、中学校費の予算要求見込額は1億907万2千円で前年度比較5,161万9千円の増額です。

学校教育課の要求見込み総額は4億4,224万8千円で、前年度比較1億9,544万6千円の増となっています。学校教育課は以上です。
子育て支援課長) それでは、子育て支援課の教育費、幼稚園に係る平成31年度予算要求について、ご説明いたします。それでは、資料の6ページをご覧ください。

初めに、幼稚園費の幼稚園運営事業ですが、町立幼稚園2園の運営に必要な消耗品や印刷代の他に、臨時教諭や幼児教育の充実を図るための教育支援員などを配置するための費用となっています。幼稚園に係る臨時職員につきましても、賃金のアップと共に交通費を支給するための費用弁償を新たに要求しております。また、臨時職員の健康診断受診料について、児童福祉総務費の中で保育園や他の臨時職員の分も合わせて要求しております。また平成31年度新たに児童福祉総務費の中で、幼稚園及び保育の園舎の長寿命化に係る計画策定のための事業委託料を計上いたしました。

なお、臨時職員の配置や平成30年度まで実施している町立国府幼稚園の統廃合に係る費用が終了したことに伴い、平成31年度当初予算は若干減額となっております。

次に、幼稚園施設・設備維持事業については、施設・設備の維持管理及び保守点検など、概ね今年度と同様の内容となっておりますが、H31年度には消防設備点検で指摘のありました粉末消火器の買い替えを計上しております。

また施設の修繕といたしましては、大磯幼稚園では、「避難口誘導灯修繕」、「園舎前の樹木の影響で盛り上がっている平板ブロックの修繕」、「ガス給湯器」及び「旗掲揚ポール」の修繕など要求しています。たかとり幼稚園では、「雨水浸水対策の修繕」と「自動火災報知設備の修繕」、「保育室へのカーテンの設置」について、予算要求しています。

3点目の私立幼稚園就園補助事業では、引き続き町外の私立幼稚園に通う園児の保護者に対し、経済的な負担を軽減するための補助してまいります。また平成31年度は、平成31年10月より始まります幼児教育の無償化に係る私立幼稚園への負担分を含めて予算計上しております。

就園補助につきましても、平成26年度を境に補助件数及び補助額が減少しておりましたが、幼児教育の無償化分を計上したため大幅に増額となっております。

したがって、幼稚園費の合計ですが、要求額が6,018万7千円で、前年度予算額が5,085万2千円ですので、934万5千円の増額となっております。

子育て支援課の教育費 幼稚園に係る平成31年度当初予算の説明については、以上となります。

生涯学習課長) 続きまして、生涯学習課生涯学習係の当初予算を説明いたします。

生涯学習係では9つの事業立てをしております。

1つ目の社会教育委員会議運営事業につきましても、社会教育委員に係る事業でございます。事業内容に変更はありませんが、平成31年度は、関東甲信越社会教育研究大会が埼玉県川越市と、近隣で開催を予定するため、費用弁償を減額としております。

次に青少年指導員連絡協議会運営事業でございますが、県と大磯町教育委員会から委嘱しております青少年指導員にかかる事業でございます。こちらも事業内容に変更はありませんが、青少年指導員への報酬や費用弁償などを計上しております。

次に社会教育総務運営事務事業では、社会教育全般の運営のための職員の研修・会議参加費用などを毎年計上しておりますが、平成31年度は「大磯町生涯学習推進計画」の進行管理を行うため、生涯学習に関する町民アンケート実施のための費用を新規に計上いたしました。

次に生涯学習推進事業でございます。こちらは、各種講座、教室の開催費用のほか、PTA関連団体への助成などを行っている事業でございます。平成31年度はサロンコンサートとして、コンサート以外での比較的小規模なスペースでの演奏会の開催費用を新規計上しております。

次に成人式開催事業でございます。成人式の式典及び実行委員会の企画・運営による記念のつどいに関する事業となります。内容に変更はありませんが、会場使用料や記念品代などを予算計上しております。平成31年度は新成人の該当者が若干減少する見込みでございます。

文化祭開催事業は、おおいそ文化祭の開催に関する経費でございます。内容に変更はありませんが、文化祭開催のための物品借上料、ポスターやプログラムの印刷代などを計上しております。

生涯学習館維持管理事業は、利用者の快適な利用に供するため、生涯学習館の維持管理などを行う事業でございます。平成31年度はリース満了に伴い新たに貨物用の公用車を購入するほか、施設維持のための備品として、老朽化した休憩用ベンチやホワイトボード、展示用パネルボードを計上しております。また、1階ロビーの照明器具のLED化、自転車置き場の修繕を計上しております。

文化財保護事業では、文化財専門委員会議の開催、埋蔵文化財の調査保存、国県町指定文化財助成、文化財の現状確認や防火巡回等を行っております。平成28年度から実施している相模国府祭調査の最終年度となり、調査員への報酬や調査報告書の印刷製本費などを計上しております。

最後に人権教育啓発事業でございます。人権問題に対して正しい認識と理解を深めるため、毎年福祉課と共催での人権講演会のほか、人権研修への参加費用を見込むものです。

以上が予算科目の社会教育総務費となり、予算要求見込み額27,824千円、前年度当初予算額25,437千円、前年度比較で2,387千円の増額となります。

以上が生涯学習課生涯学習係の予算要求でございます。

図書館長) 図書館は、例年どおり5つの事業で予算要求をしております。主な点を説明いたします。

図書館維持管理事業におきまして、図書館施設修繕計画策定調査委託、こちらは、図書館長寿命化のための修繕計画を策定するための調査を委託するものでございます。それから、施設の修繕箇所としまして、自動ドアのドアエンジン・コントローラー等の交換、自動火災報知設備予備電池交換、1階女子トイレ便器交換及び扉修繕工事、高圧交流負荷開閉器交換工事、地下給水ポンプユニット維持修繕工事の予算要求をしていきます。

その他の事業としては、前年どおりですが、一番下の欄になりますが、子ども読書推進事業におきまして読書通帳2,000冊の増刷を4年ぶりに行います。図書館の歳出見込み額は48,617千円で、前年比で4,836千円の増となっております。

郷土資料館長) 郷土資料館分です。資料9ページをご覧ください。

はじめに郷土資料館運営事務事業は郷土資料館運営に係る経費で、大磯町郷土資料館協議会の開催、事務的経費の執行、年報等印刷物の刊行を予定しております。

次に郷土資料館維持管理事業では、中央監視盤更新等の各種修繕、隔年実施の燻蒸委託、施設修繕計画策定調査委託、各種修繕を予定しております。

郷土資料館学芸活動事業では、各分野の資料収集・調査研究といった学芸活動に係る経費です。今年度に引き続き、次年度町指定文化財の木像神像の保存処理委託を予定しております。

教育普及・企画展事業につきましては、各種講座等の実施、企画展の開催に係る経費で、今年度実績を踏まえての要求を予定しております。

次に旧吉田茂邸に係る事業です。旧吉田茂邸運営事務事業は、別館である吉田邸の運営に係る経費で、調度品の製作・備品の購入を予定しております。旧吉田茂邸維持管理事業につきましては、吉田邸の維持管理に係る経費で、施設整備及び各種設備の維持管理を実施し、必要に応じた修繕を行ないます。旧吉田茂邸学芸活動事業は、吉田茂に関する資料収集・調査研究を行ない、講座等を開催します。旧吉田茂邸研修等事業については独自の講座等、今年度実績を踏まえた事業展開を予定しております。

要求額が6,658千円で、前年度比、16,837千円の増でございます。

質疑応答)

トーリー委員) 学校教育指導振興事業のところの部活動外部指導者謝金の人数増とありますが、何名増になりますか。

学校教育課長) 全体の中の人数増となりますが、こちらにつきましては、実際のところ小学校でも部活動をやっております。吹奏楽とか、謝金等が出ていない状況ですが、こういった謝金の中で手当てをしていった方が良いのではないかとということで予算増となっているものです。人数は10名程度です。

トーリー委員) 1ページの一番下の段になりますが今度、いじめ問題対策の精神科医を追加とありますが、非常にありがたく感じております。いじめだけでなく、不登校のお子さんも増えてきておりますので、心のケアという部分で専門家の方が入っていただけるということで、とても心強くありがたく思っております。ありがとうございます。

曾田委員) 町の限られた予算の中で、これだけのいろいろなことをどこまでできるかということもございしますが、今町全体として大変必要なことがあるわけですね。幼稚園から中学校までの子どもさんの育成についての問題で行くと、課題になっている教育研究所の在り方がとても大切になってくるだろうと思います。このため優先をしてほしいというわけではありませんが、できるだけ早くに、このような機能を町全体が持つことを実現してほしいとトーリー委員のお話を伺って感じているところです。

長嶋委員) 教育予算に関しては結構かと思えますけど、どうしても単式簿記ですので、2億予算要求するには、基本的に学校教育課などはエアコンやブロック塀等の補助金もありますし、経営バランスで、貸借対照表でいくとどのくらいあってこれだけ増えているのか。教育研究所も寄附、基金があるから、何千万使うと増えているとか。旧吉田邸は入館料が増えているから、十分経営できると。これは表に出すものではなくても予算を立てる上での根底となる考え方、裏付けがあれば、いろいろなことに企画していただければよいのかなど、思います。

青山委員) 大きな予算要求については修繕ですとか、安全面の確保のため予算要求を
どんどんしていかななくてはいけないところかなと思います。

学校教育課の中で、小中学校にタブレットを追加するという内容がありますが、
現状でタブレットを使った学習はどのような状況なのか。今回要求する
台数の数を示す根拠を示していただきたいと思います。

学校教育課副課長) 現在、各小中学校にはそれぞれコンピュータ室がありまして、ひ
とクラス分のコンピュータは備え付けられており、加えて各教室に持ち込ん
で使えるタブレット端末が数十台ありまして、それを担任の先生が授業の必
要に応じて順番に使っております。ただクラス数が多かったりするとかな
か児童生徒に回らないという状況もありますので、もうひとクラス分以上あ
ると使いまわすことができます。

教育長) ひとクラス分がほしいということですね。

学校教育課長) タブレットは、中学校では各クラスでの授業で各生徒に1台とい
うことを踏まえ、コンピュータ室の端末も含めて各学年40台ずつ使えるよう
な形を考えております。小学校は、三学年分になりますが、中学校と同じ相当
分の台数を要求しているところでございます。4学年、5学年、6学年とい
うので、それぞれの学年で40台ずつ使うなど、いろいろ組合せはあるので
すが、3学年分のそれぞれの40台、使い方は学校それぞれで工夫して使っ
ただければと思います。

教育長) 整理しますと、中学校で120台要求したい、小学校も120台ということ
で予算要求するというところで宜しいでしょうか。

青山委員) 今コンピューターやタブレットを日常的に使う時代に来ていますし、
プログラミング教育などがどんどん始まっていきますから、こういった機材の
充実が町にとっても大事なことかと思っておりますので予算が通ればと思います。

教育部長) おっしゃるとおり情報機器、タブレットについて議会でも一般質問
いただいているのですが、本町は非常に普及が遅れていると、全国でも、神奈川
県は非常に低い、8人に1台という感じなのですが、さらに大磯町はそれよ
りも少ない状況です。国の目標もあります、大磯ははるかに低い。おそ
らく予算が通りますと、予算が全額認められますと、5人から6人程度と、
神奈川県平均よりを上回りますけど、文科省の目標には及ばないということ
になります。だいぶ遅れていることは事実でございますので、ハード整備と併
せてITのソフト面での予算も両面で確保していきたい。

トーリー委員) ITというのと、心のケアですね。子供は国の宝ですから、子ども
たちがいかに健全な心で学業に臨めるか、環境づくりとこれからの時代を見
越したものには、がんばって予算要求をしていただきたい。

エアコンについては教室だけでなく、特別教室も、火を使う理科室ですと
か、家庭科室などできれば、エアコンを設置していただければ、非常にあり
がたいと思います。

教育部長) 心のケアの問題。やはりスクールソーシャルワーカーですとか、心理士、
これは大磯町は他に先んじて充実を図っている。充実を図っていると益々効
果が現場からも出てきておりますので、さらに増員したいということでち
らも、なるべく心のケアにつながるものについては予算を確保したいとい
う思いがあります。エアコンに関しましては、事業者選定、年末に行うところ
でございます。どのような提案が出るかによって普通教室以外の教室の提案
があるかということになりますが、特別教室の中でも窓を開けられないよう

な教室に関しましては当然エアコンが必要になってくると思います。なるべく前向きに検討していきたいと考えております。

教育長) よろしいでしょうか。それでは、これから、町との予算折衝が始まり、年明け早々には、ほぼ確定していく見込みですので、事務局におきましては、大磯町の教育のため、教育予算充実に向け頑張っていきたいと思っております。

報告事項第1号 第2回大磯町立中学校給食検討会について

学校教育課副課長) 第2回大磯町立中学校給食検討会について、ご報告いたします。

日時は平成30年11月12日、午前10時から11時。場所は大磯町保健センター2階研修室。出席者は検討会14名、事務局3名、傍聴者16名、オブザーバー3名。オブザーバーは株式会社長大まちづくり事業部アルコム建築部堀内部長氏他2名でございます。

内容は、Ⅰ 開会、Ⅱ 議題 「(1)大磯町立中学校の給食の方式について」ということで、①事務局から平成30年10月29日に全児童生徒保護者に配布した、第1回の検討会の概要をまとめた「大磯町立中学校 学校給食だより」についての説明いたしました。②事務局から「大磯町立中学校給食実施調査 報告書(案)」について説明しましたので、少し長くなりますが、ここで、本調査の委託業者である「株式会社 長大」から大磯町の方に納品されました「大磯町中学校給食実施調査」の報告書(案)について、前回の中間報告書と比較して、主な変更点について、その概要を説明いたします。

お手元には、「大磯町中学校給食実施調査 報告書(案)」をご用意ください。

19ページをお開きください。自校方式につきましては、A・B案以外にも両中学校の敷地内で給食調理室建設の立地可能としてお示しできる場所があるかどうかについて再調査を行い、大磯中学校、国府中学校の新たな提案として、C案を示しております。

まず、大磯中学校の「候補場所C」であります。こちらは、体育館東側のスペースについて、体育館東側の既存のトイレ、体育準備室を解体、撤去し、その機能を移設して、敷地面積を確保した場合があります。こちらの候補地C案については、「既存体育館便所・体育館倉庫を解体・撤去した分、建設スペースが広がり、有効スペースを増やすことができる。」、「町道に面した門から近いことによって搬入の経路が作りやすい。」、「現在駐車場となっていることから教育活動への影響が少ない。」という理由で選定されております。

調査結果としては、「道路面と敷地に約1.5mのレベル差があり、勾配のある道路が造られている。」という結果でありました。分析では、「既設の進入路スロープを利用できるので、敷地造成費を最小限に計画できる。」、「町道から国道への進入待ちで一般車両が並ぶ中、車の出入は難しい可能性がある。」、「解体した体育館便所・体育館倉庫を新設する建設費が必要となる。」という内容であります。

結論では、「既設体育館脇の便所・倉庫を撤去し、既設進入路スロープの形状を変えない設計をすることで敷地造成費を抑制した建物配置の可能性はあると考える。」としております。

次に、25ページをお開きください。まず、国府中学校の「候補場所C」であります。こちらは、校内の敷地の西側部分のA棟、南側の校舎とグラウンドの間の敷地を利用し、以前に使用していた給食用の配膳室を連絡口として活用した場合であります。こちらは、配膳室を有効的に活用することで給食調理室の建設を可能とするものであります。

こちらの候補地C案については、「グラウンドに通ずる西側の通路を拡幅することで施設を建設できる可能性がある。」という理由で選定されております。

調査結果としては、「西側に土砂災害警戒区域に指定されている崖がある。」「観覧席・部室がある。」という結果でありました。

分析では、「西側の通路を確保するため、擁壁での通路拡幅工事が発生する。」「食材搬入車両が校内を通過するため、通路部分の床ライン引き等の安全対策が必要となる。」「施設の形状を細長くすることで検討したが、観覧席部分を2段削ることとなる。建物平面の詳細設計によっては削る分を少なくすることも可能と考えられる。」「コンピュータ室が暗くなる。（法規上必要な採光は確保）」、「配膳室を連絡口として使用することで有利な利用ができる。」という内容であります。

結論では、「候補場所Cでの建設は調査結果・分析より、土砂災害警戒区域に指定されていることとの整合性を図る必要はあるが、施設形状を細くすることで建物配置の可能性はあると考える。」としております。

建設する場合には、「配置場所によっては土砂災害発生時を想定し、建物の構造を鉄骨造・RC造とすることや、開口部の位置に設計上の工夫をすることが必要となる。」「細長い給食室となるため、動線が長くなり、洗浄後の食缶の移動時、調理員の負担が増える。」という課題が挙げられます。

次に、27ページをお開きください。

下の方になりますが、「(エ)給食実施に係るスケジュール及び給食開始時期」であります。

こちらは、諸手続や実施方法について何の問題もなく、事が進んだ場合の最短のスケジュールということで、基本設計の発注から2年と数ヶ月かかるということを示しております。

次に、28ページをお開きください。「(オ)初期投資費用及び維持管理費用」として29ページにかけて記載をしております。こちらは、実現の可能性のある場所として、大磯中学校A案、こちらは、体育館東側のスペースで体育館東側のトイレ体育準備室を撤去しない場合、そして、大磯中学校C案、こちらは、体育館東側のスペースで体育館東側のトイレ体育準備室を撤去して移設する場合、そして、国府中学校C案、こちらは、校内の敷地の西側部分のA棟（南側の校舎）とグラウンドの間の敷地を利用し、以前に使用していた給食用の配膳室を連絡口として活用した場合、これらの3カ所について、鉄筋コンクリート、鉄骨の2つの建築種別に分けて、それぞれ試算を行っております。

下の方の表17の初期整備費をご覧ください。初期費用、主に設計や工事費用になりますが、鉄筋コンクリートについては、大磯中学校A案は約3億7,100万円、大磯中学校C案は約3億6400万円、国府中学校C案は約3億1,100万円であります。

鉄骨造については、大磯中学校A案は約3億1,700万円、大磯中学校C案は約3億1,100万円、国府中学校C案は約2億6,400万円であります。

続いて、30ページをお開きください。表18 維持管理運営費1年間分であります。大磯中学校のA、C案については、約4,400万円、国府中学校のC案については、約3,800万円となります。

次に44ページをお開きください。センター方式の関係になります。「(ア) 他自治体の事例」になりますが、近隣の事例ということで、「二宮町学校給食センター」を追加しております。

次に46ページをお開きください。「(ウ) 候補地設定」になりますが、給食センターを建築する敷地面積を精査し、大磯町では、工業地域よりも建ぺい率の低い市街化調整区域への建設の可能性が高いことから、3,000㎡から6000㎡程度の敷地が必要としております。

次に47ページをご覧ください。「(エ) モデルプラン」になりますが、全体的に延床面積を精査し、900食のモデルプランで延床面積を縮小しております。

次に70ページをご覧ください。「(ケ) 費用の試算」になります。

表40が算定条件であります。必要な面積、土地単価について町の実情を考慮し、中間報告のときの条件と比較し、延べ床面積や敷地面積については縮小、土地の単価については市街化調整区域の公示価格をもとに算定しております。

モデル1の900食では、延べ床面積941㎡、敷地面積2,670㎡、モデル2の2,600食では、延べ床面積2,253㎡、敷地面積4,172㎡、モデル3の3,500食では、延べ床面積3,363㎡、敷地面積5,430㎡で3つのモデルについて初期費用を比較検討いたしました。

71ページが初期費用、主に設計や工事費用になりますが、鉄筋コンクリートについては、モデル1は、約8億9,800万円、モデル2は、約19億8,600万円、モデル3は、約29億7,500万円であります。

鉄骨造については、モデル1は、約7億7,600万円、モデル2は、約12億4,100万円、モデル3は、約25億3,700万円であります。

続いて、73ページをお開きください。表43センター方式維持管理運営費1年間分であります。モデル1は、約1億6,200万、モデル2は、約2億4,900万円、モデル3は、約3億100万円となります。

次に79ページをお開きください。兄弟方式の関係になります。

「(ア) 建設候補地」については、大磯中学校の1号館の敷地を示しておりましたが、下の図16のとおり、大磯中学校の体育館東側の敷地について、可能かどうかを検討しましたが、建物の町道側に食材搬入・コンテナ配送用のスペース(車回し)が確保できないため、兄弟方式の給食施設建設は不可と判断しております。

次に94ページをお開きください。「(ツ) 費用の試算」については、校舎3階建てのうち、3階の教室部分を除いて算出するように変更いたしました。

「①給食施設の初期整備費」についてです。

表61が算定条件であります。中学校のみの900食で、延べ床面積1,655㎡で1つの条件について初期費用を算出いたしました。下段の表62が初期費用、主に設計や工事費用になりますが、鉄筋コンクリートについては、約13億6,600万円、鉄骨造については、約11億5,100万円あります。

続いて、97ページをお開きください。表67 兄弟方式維持管理運営費1年間分であります。900食の調理施設で、約8,700万円あります。

100ページをご覧ください。最後に、自校方式、センター方式、兄弟方式について、表72のとおり、それぞれ方式別に経費比較を一つの表にしてまとめております。親子方式については、実施不可の判定により算定不能のため、この表からは除いております。なお、金額については、今後の状況の変化により変動の可能性があります。

右から2番目の「総額（30年）初期費用＋維持管理費30年－国庫補助」の欄を上から読み上げますと、自校方式では、約30億100万円、センター方式の900食では、約56億600万円、2600食では、約85億9,900万円、3,500食では、約114億1300万円、兄弟方式では、約36億9,000万円となっております。以上、前回からの中間報告書との主な変更点についてでございます。

次に、オブザーバーである調査委託業者（株）長大担当者への質問の内容としては、国府中学校からは体育館とA棟の間のスペースに給食施設を建設できないかとの問いがあり、長大から施設建設に必要な幅員を考えると、建設は難しいとの回答がありました。さらに国府中学校からは2階建ての施設は可能かとの質問がありました。長大からは、毎朝2階に食材を上げなければならないのは、給食の運営上かなり難しい。栄養教諭からは毎朝、例えば8時頃に5社から食材が届くとして、野菜や肉、魚などを次々と職員がエレベーターですべて2階に上げるのにはかなり時間がかかる。また泥のついた野菜等と、できあがった給食は同じエレベーターで運べないため、エレベーターも2基は必要となる。それから、ガス釜やフライヤー、冷蔵庫、消毒保管庫など、かなり重量のあるものを2階に設置することになるとの意見がございました。

大磯中学校からは、大磯小学校の施設と比べて大きい、生徒数が少ないのに何故かとの問いがあり、長大は小学校を建てた当時より、安全衛生基準が厳しくなっていると回答いたしました。比較表で、維持管理運営費が、自校方式で8千万円のところ、なぜセンター方式（900食）で倍の1億6千万円もかかるのか、という質問がございました。長大からはセンターから各校への配送費がかかる。またセンター方式は管理基準もより厳しくなり、人の配置も多くなると人件費もかかってくるとの説明がありました。

次に【主な協議】として、今後の予定について、生徒や保護者・先生、町民に示さないと、そうすぐに決められることではない。12月の教育委員会で決めるという予定に変更はないのか。

町として来年度の当初予算に計上するとも考えたが、検討会の回数を増やすことはできる。ただし一歩ずつでも前に進んでいきたい。例えば今日の検討会では仮に自校方式と決めそれぞれが持ち帰り、話し合ってきた上で第3回を開催するというのはどうか。もともと多くは小学校のような自校方式を望んでいた。方向としては賛成である。ただし、どうしたら美味しい給食になるかの運用面には、意見が反映されるよう時間をかけたい。まずは方式を決め、運用面はまた考えていく。

今回の調査で自校方式の候補の評価はすべて△。今日、自校方式と絞り、課題を整理し、皆さんの意見を聞いて探っていく期間を設けた上で、3回目にまた改めて議論するのはどうか。という意見がございました。

今回、【第2回 大磯町立中学校給食検討会で決定したこと】は、今回の検討会では自校方式に絞り、出てきた課題を整理していき、それを最終的な結論としていくのかを探っていく。第3回目の大磯町立中学校給食検討会は、1月中旬に開催する。ということとなりました。

(2) その他は特にございません。

最後に、第3回大磯町立中学校給食検討会は平成31年1月中旬ということを確認して会は終了いたしました。報告は以上でございます。

質疑応答)

青山委員) 国府中学校C案というのが、新しく出てきたということなのですが、国府中学校の周りは土砂災害警戒区域ということで、災害の時の被害が懸念されますけれども、建物の構造、鉄骨やRCにすることで、その辺の心配はクリアされるのでしょうか。

教育部長) 災害の規模にもよるところであると思いますが、まず窓の位置、土砂が入ってこないように崖側に作らないことや、出入り口の位置を法面側に作らないなど、可能な限り万が一の災害を最小限に食い止めることは考えられると調査会社も説明しておりました。

報告事項第2号 町立幼稚園への平成31年度入園応募状況について

子育て支援課長) それでは、報告事項第2号「町立幼稚園への平成31年度入園応募状況について」、報告いたします。資料裏面の「平成31年度 町立幼稚園園児見込数」をご覧ください。

始めに、申し訳ありませんが資料の訂正をお願いいたします。中段のたかとり幼稚園の平成31年4月の予定のクラス数の年長及び年中が2クラスとなっておりますが、こちらは年長及び年中ともに1クラスとなります。申し訳ありませんでした。

それでは、町立幼稚園の入園状況について、ご説明いたします。平31年度の入園願書につきましては、11月1日(木)及び2日(金)、5日(月)の3日間で受付を行ったものになります。本日の資料は、11月6日現在のものとなっておりますので、ご了承願います。

まず大磯幼稚園ですが、全体で35名の願書を受け付けてしております。そのうち年中組が1名で、年少組が34名となっております。昨年の当初の願書受付数と比べますと、年少組は39名でしたので、5名で約13%の減となっております。またクラス数については、今年度と同様に各学年2クラスで、全体で6クラスでの運営を予定しております。

次に、たかとり幼稚園ですが、こちらは年中組に1名、年少組は21名の受付となっております。たかとり幼稚園の年少組は、昨年度は30名でしたので、9名で約30%の減となっております。先ほど訂正させていただきましたクラス数については、各学年ともに1クラスで、全体で3クラスとなります。幼稚園のクラス編成については、文部省令の「幼稚園設置基準」に基づき、「大磯町立幼稚園の管理運営に関する規則」及び「大磯町立幼稚園園則」で定めているところですが、今回たかとり幼稚園の園長より幼児の教育環境に配慮して、クラス編成の変更について要望を頂いておりますので、今後園と調整していきたいと考えております。

町立幼稚園全体では、年少組が55名、年中組は2名、年長組の受付はありませんので、合計で57名の願書を受け付けてしております。昨年は全体で、71名です。14名、約20%の減となっております。

参考までに、私立こいそ幼稚園については、年長、年中組は願書受付がありませんでしたので、年少組のみで31名となっております。昨年度は25名でしたので6名の増となっております。認定こども園の幼稚園部門については、認定こども園あおぼとは、全体で13名、年中3名、年少10名となっております。昨年からの在園児と合わせて全体で24名となります。保育園と併願している園児が4名おります。また、平成30年度に開園いたしましたサンキッズ国府の幼稚園部門の願書受付状況については、15名が全て年少組でしたので抽選の結果、そのうち12名が内定となっております。在園児を含む園児数は、年長が14名、年中が7名、年少が抽選の結果、内定となった12名となります。ただし、保育部門との併願をされている方が3名ほどおりますので、保育園の入園の状況により園児数に変更になることもあります。

報告事項第2号「町立幼稚園への平成31年度入園応募状況について」は、以上となります。

質疑応答) なし。

報告事項第3号 子ども・子育て支援に関する利用ニーズ調査の実施について

子育て支援課長) それでは、報告事項第2号「子ども・子育て支援に関する利用ニーズ調査の実施について」、ご報告いたします。資料の裏面をご覧ください。

平成27年度よりスタートいたしました子ども・子育て支援新制度では、子ども・子育て支援法第61条の規定に基づき、5年を1期とする教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保、その他この法律に基づく業務を円滑に実施するために市町村の子ども・子育て支援事業計画を策定することになっております。

本町では、第1期計画として平成27年度にスタートしました「大磯町子ども笑顔かがやきプラン」が平成31年度に終了することになっておりますので、平成32年度以降の第2期計画の策定に向けて、その基礎資料となりますニーズ調査を実施していくものです。

それでは調査の概要についてですが、大磯町子ども笑顔かがやきプランの策定に向けた利用ニーズ調査につきましては、教育・保育及び地域の子ども・子育て支援事業の「量の見込み」を設定するために、現在の教育・保育サービスの利用状況や利用希望等を把握するための調査となります。

調査の対象は、就学前のお子さんを持つ保護者の方、1,500名程度と、小学生のお子さんを持つ保護者の方、1,000名程度で、合計2,500名程度となります。実際の調査は、「第2期大磯町子ども笑顔かがやきプラン策定のためのニーズ調査等業務委託」として委託業務契約を結びました「株式会社 サーベイリサーチセンター」が実施することになります。調査票の作成や発送、集計、分析等の業務を委託して行います。前回の調査との変更点といたしましては、すべての調査票を郵送配付で郵送回収といたしました。

調査の時期及び期間につきましては、この11月の中旬に調査票を発送する予定です。調査期間として3週間程度を考えており12月10日月曜日までに回答いただくようにしてあります。また、回収率を向上させるために発送から1週間から10日ほど経過したところで、回答の確認通知ハガキを送付する予定です。

調査の項目といたしましては、国が示す調査の必須項目に町独自の調査項目「満足度や費用の設問」を追加してあります。詳しくは、本日机上にて配布させていただきました調査票でご確認いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

報告事項第2号「子ども・子育て支援に関する利用ニーズ調査の実施について」、ご報告は、以上となります。

質疑応答) なし。

報告事項第4号 大磯町郷土資料館協議会委員の委嘱について

郷土資料館長) 報告事項第5号、「大磯町郷土資料館協議会委員の委嘱について」をご報告させていただきます。資料1頁をご覧ください。大磯町郷土資料館協議会は平成29年10月1日から平成31年9月30日までの2年間の任期となっております。委員のうち生涯学習の関係者として、大磯町社会教育委員から委員が選任されていますが、平成30年10月1日付けの社会教育委員の委員改選に伴い委員の変更がありましたので、前任者の補欠委員として記載の方を委嘱するものです。

2頁に「大磯町郷土資料館条例」、「大磯町郷土資料館条例施行規則」の抜粋を掲載しております。3頁は平成30年9月30日時点での大磯町郷土資料館協議会委員名簿です。

質疑応答) なし。

報告事項第5号 教育委員会関連事業の実施及び結果報告について

生涯学習課長) 報告事項第5号、教育委員会関連事業の実施及び結果報告についてご説明いたします。

はじめに、「第65回おおいそ文化祭の実施結果について」ご説明をさせていただきます。1ページをご覧ください。

第65回おおいそ文化祭は、10月13日から14日の2日間を中心に生涯学習館、図書館、郷土資料館などの町施設で、また、10月20日から11月4日まで各地区会館で開催いたしました。

個人参加による「おおいそ美術展」は、10月26日から10月28日にかけて郷土資料館を会場に開催し、24作品の出展がございました。

参加団体は、35団体、来場者数は2,668人でした。

会場ごとの参加人数等につきましては、表に記載のとおりでございます。

次に、「平成30年度大磯町人権教育講演会の実施結果について」ご説明をさせていただきます。2ページをご覧ください。

人権教育講演会は、人権が尊重される社会の実現のため、人権に対する正しい理解と認識を深めることを目的に、福祉課と生涯学習課の共催事業として、11月6日火曜日、保健センターの研修室で開催をいたしました。

本年度は、NPO法人ほっとプラス代表理事の藤田孝典さんをお招きし、「高齢者の貧困と人権 ～下流老人問題と社会権の今～」という演題で講演をしていただきました。

当日の参加者数は 74 人でした。委員の皆さまにもご出席いただき、ありがとうございました。説明は以上でございます。

図書館長) 続きまして図書館主催行事について説明いたします。

詳細は 3 ページから 6 ページに記載のとおりですが、追加及び訂正事項がございます。

説明資料 4 ページをご覧ください。

第 17 回大磯図書館まつりの参加人数を報告いたします。

主な催しとして古本市 559 人、おはなし会 51 人、折り紙教室 21 人、森の手作りひろば 66 人。図書館まつり催し全体の参加延べ人数は 1,495 人でした。

続いて 6 ページをご覧ください。SP & LP レコード鑑賞会の内容につきまして、「図書館が所蔵する 1910 年代から 50 年代に録音された SP レコード及び個人所蔵の SP レコードと LP レコード」と記載しましたが、「図書館及び個人が所蔵する 1910 年代から 50 年代に録音された SP レコードと LP レコード」と訂正いたします。

つまり、図書館が所蔵する LP レコードも鑑賞対象とするものです。また、開催時間を「午後 2 時～4 時 30 分」から「午後 1 時 30 分～4 時」に変更しております。以上です。

子育て支援課長) 平成 30 年度いそっこフェスティバルの開催結果について報告いたします。

こちらにつきましては、地域や施設の枠を超えて大磯町在住の年長児が一堂に会して、体操等を通して交流を深める活動となっております。

開催につきましては、平成 30 年 10 月 20 日国府小学校体育館で実施いたしました。内容につきましては、例年と同様にふれあいタイム、記念品贈呈やいそべえ・あおみと歌を歌うというような形で実施しております。参加人数は 191 名となっておりますが、全体の対象児童は 202 名おりましたので、若干名欠席となっております。ちなみに前年度は 192 名の参加がございました。

当日は、曾田委員から今年もご丁寧に、たくさんプレゼントをいただきありがとうございました。また来年度も引き続きよろしく願いできればと思っております。以上です。

質疑応答)

曾田委員) 人権講演会は、非常にタイムリーで大変良い企画だったと思います。

青山委員) 人権講演会の中で、今年は手話が必要な方が最前列にいらっしやって、手話のボランティアさんを介して、講師とやり取りする場面があって、いつもボランティアの方がいらっしやるのですが、このボランティアの方をうまく活用して良い講演の内容になったなど、この部分も好評でした。

(その他)

教育長) では、次回の会議について事務局から報告をお願いいたします。

事務局) 次回の教育委員会定例会は、12月25日、火曜日、午前9時30分から、大磯町役場本庁舎4階第2委員会室で開催予定です。12月は、午後からの訪問はございません。

教育長) それでは、以上をもちまして、平成30年度大磯町教育委員会第8回定例会を閉会いたします。お忙しい中、ご審議いただきまして、ありがとうございます。お疲れ様でした。

(閉会)

会議の経過を記載し、その相違ないことを証しここに署名する。

平成30年12月25日

教 育 長 _____

教育長職務代理者 _____

委 員 _____

委 員 _____

委 員 _____